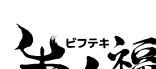
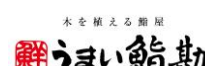
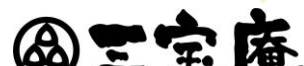


2025年3月期決算説明資料

2025年5月9日

SRSホールディングス株式会社（東証プライム：8163）



01

2025年3月期 決算概要

3

02

2026年3月期 事業計画

13

03

Appendix

16

01

2025年3月期 決算概要

3

02

2026年3月期 事業計画

13

03

Appendix

16

◆ **売上高** : **674億78百万円** 前年同期比 **+72億49百万円 増収** **過去最高**

- ・ 社会経済活動の正常化に伴う人流増加やインバウンド需要の増加、所得・雇用環境の改善などの影響により、外食需要は堅調に推移
- ・ 前年度に引き続き過去最高売上高を更新

◆ **営業利益** : **26億78百万円** 前年同期比 **+5億21百万円 増益** **過去最高**

- ・ 地政学的リスクの高まりや、為替相場の円安継続、原材料価格をはじめとした各種コストの上昇などにより、依然として厳しい経営環境が続いているものの、前連結会計年度に実施した諸施策の効果による既存店の収益性向上や売上高の好調により、前年実績を大きく上回り増益

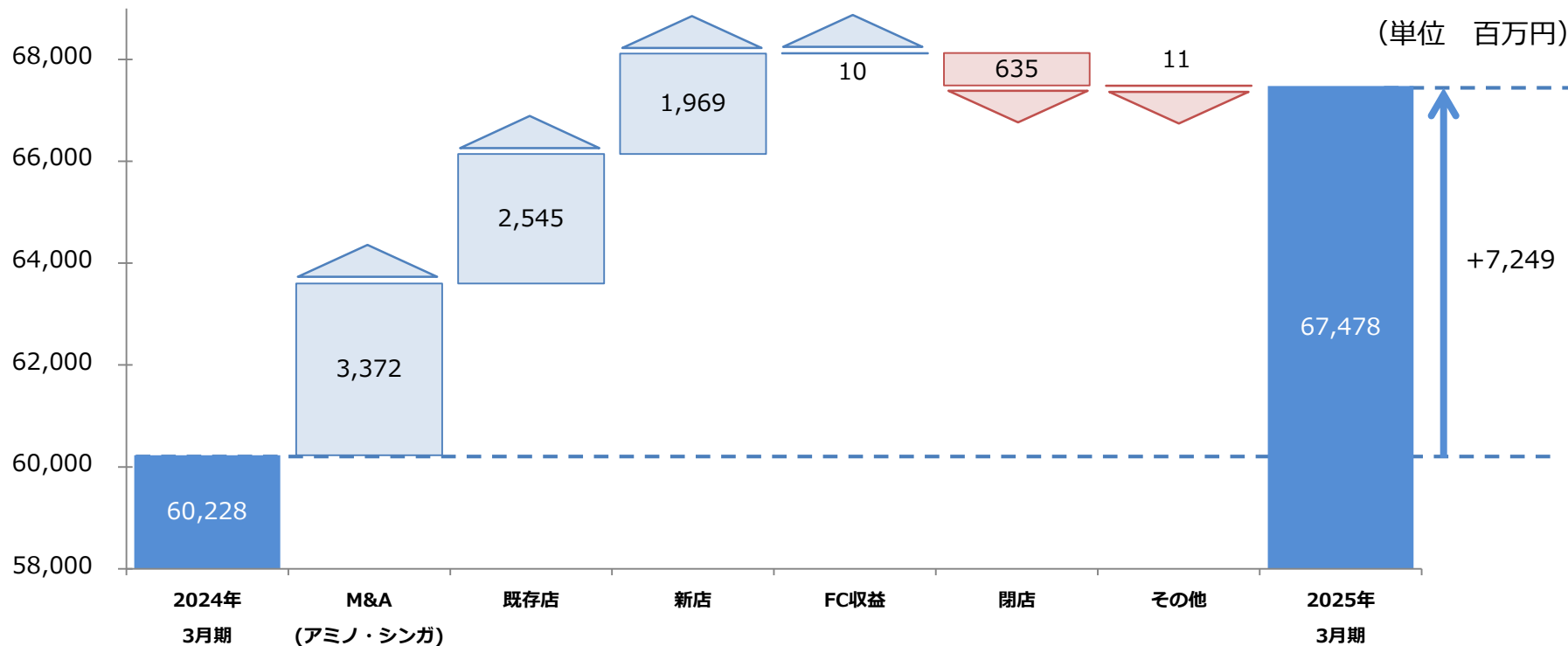
◆ **経常利益** : **25億39百万円** 前年同期比 **+3億76百万円 増益**

◆ 親会社株主に帰属する
当期純利益 : **9億25百万円** 前年同期比 **▲8億72百万円 減益**

- ・ 上記の増益要因はあったものの、連結子会社である株式会社NISののれんの減損損失を特別損失に計上したことなどにより、前年実績に対し減益

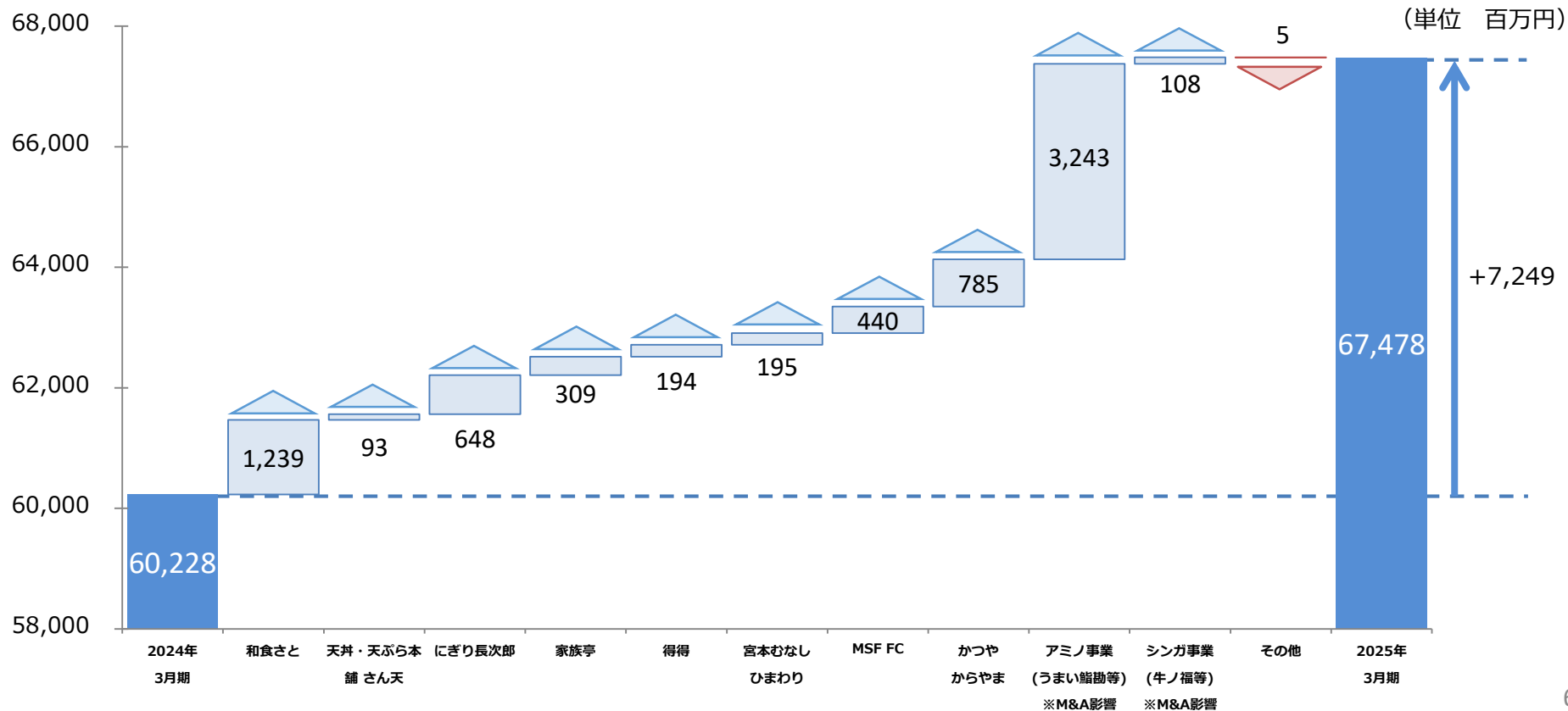
売上高前年差異分析（全社）

- 社会経済活動の正常化に伴い、既存店の来店客数が回復基調となり、売上高は堅調に推移し、前年実績を大きく上回り増収（前年差+7,249百万円）
- 新規出店は39店舗（うち直営16店舗）、閉店67店舗（うち直営13店舗）



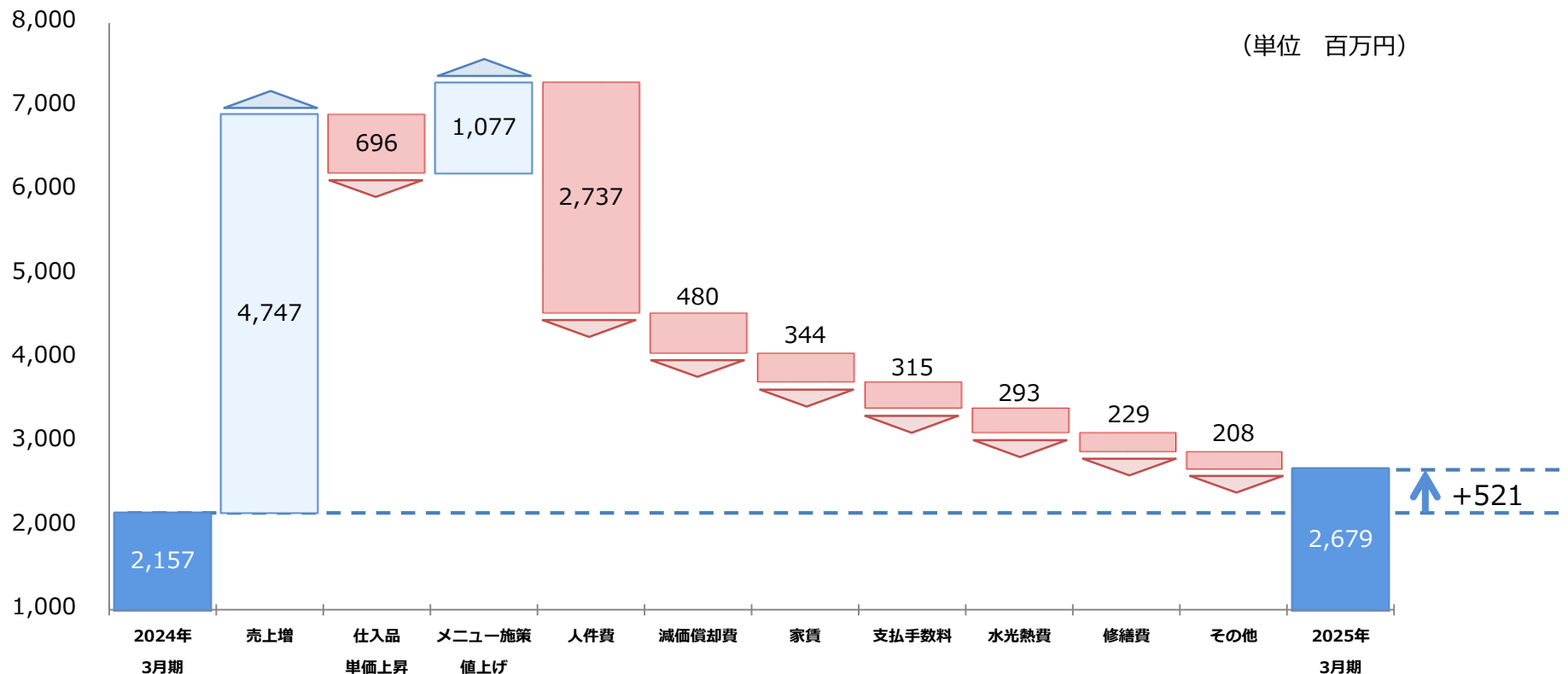
売上高前年差異分析（事業別）

- 全ての事業で前年売上高を超過
- アミノのM&Aによる影響が大きい



営業利益前年差異分析（全社）

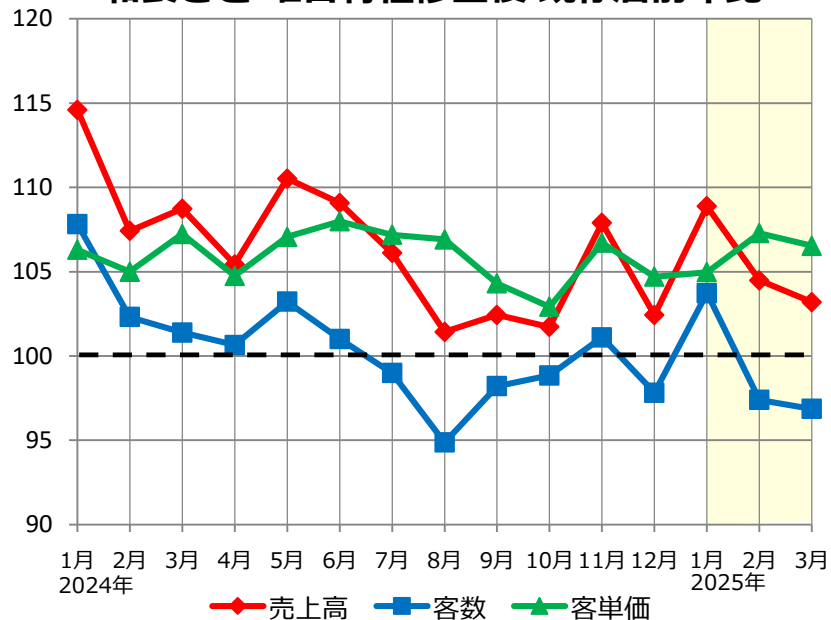
- 売上高増加や平均時給上昇に伴う人件費の増加、原材料価格の高騰などによる減益影響があったものの、既存店の増収影響及びメニュー施策による荒利益率の改善もあり、前年に対して増益（前年差+521百万円）



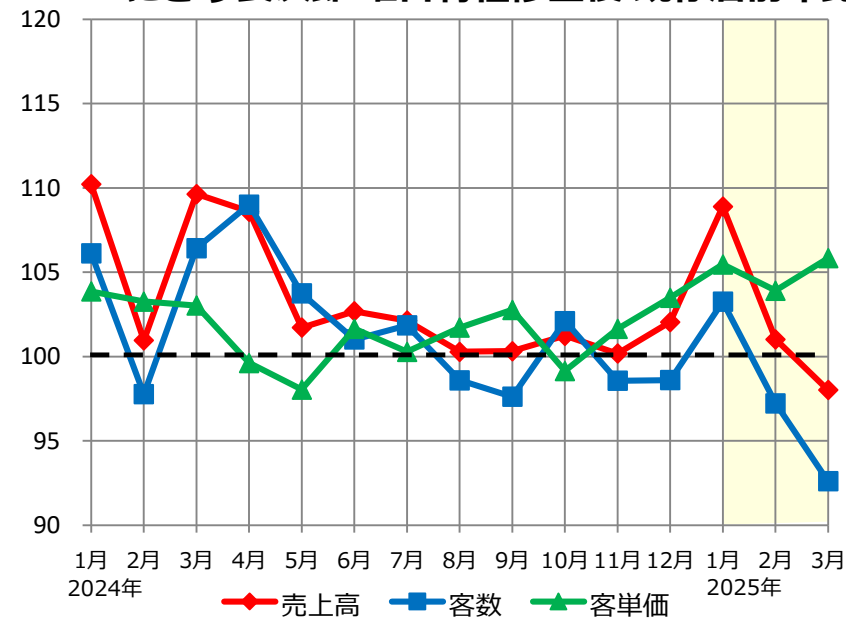
主力2業態 既存店業績推移

- 4月～6月は、主力2業態ともに売上高は前年を上回り好調に推移
- 8月に発表された南海トラフ地震臨時情報や8月末～9月初旬にかけて西日本に上陸した台風10号に伴う一部地域での消費行動の変化が影響し、8月、9月は主力2業態ともに客数が前年を下回る結果となった
- 10月～12月の「和食さと」業態は、10月の高気温や前年度12月のフェアメニュー販売の好調により、客数が前年を下回る月もあったが、客単価の上昇が寄与し売上高は前年を超過
- 3月の「にぎり長次郎」業態については、前年に実施したキャンペーン施策の反動で前年売上高未達

(%) ◎ 和食さと 曜日特性修正後 既存店前年比



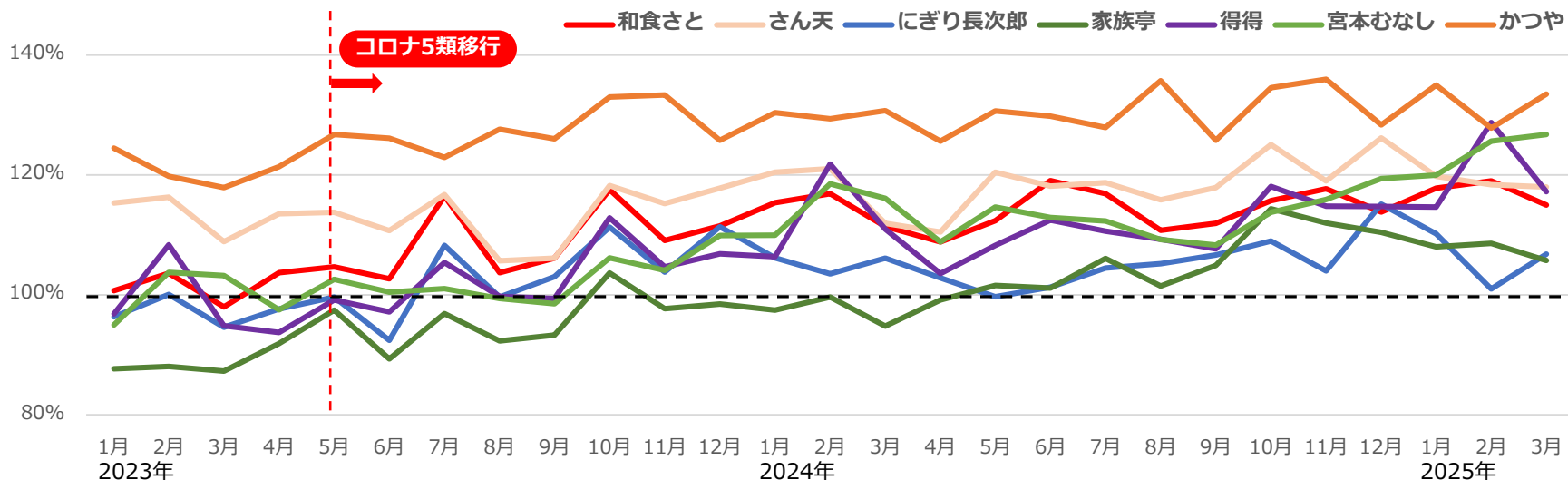
(%) ◎ にぎり長次郎 曜日特性修正後 既存店前年比



主要業態 直営既存店売上高 コロナ禍前推移

- インバウンド需要の増加、高水準の賃上げトレンドなどの好影響に加え、各業態で実施した価格改定や高付加価値商品の販売によるマーケティング戦略が奏功し、24年5月以降は全業態でコロナ禍前を超える水準で推移
- 郊外立地でテイクアウト比率が高い「天井・天ぷら本舗 さん天」「かつや」業態は、テイクアウト、デリバリー売上の好調も起因し、コロナ禍中からの好調を維持
- 都市型立地の「宮本むなし」業態は不採算店舗の閉店やリブランディング、メニュー施策が奏功し、コロナ禍前を大きく上回る水準を維持
- 同じく都市型・ビルイン立地の「家族亭」業態は、24年4月のグランドメニュー改定による単価上昇と施設の客数回復により、24年5月にコロナ禍前水準を超過し、25年以降はコロナ禍前を大きく上回る水準で推移

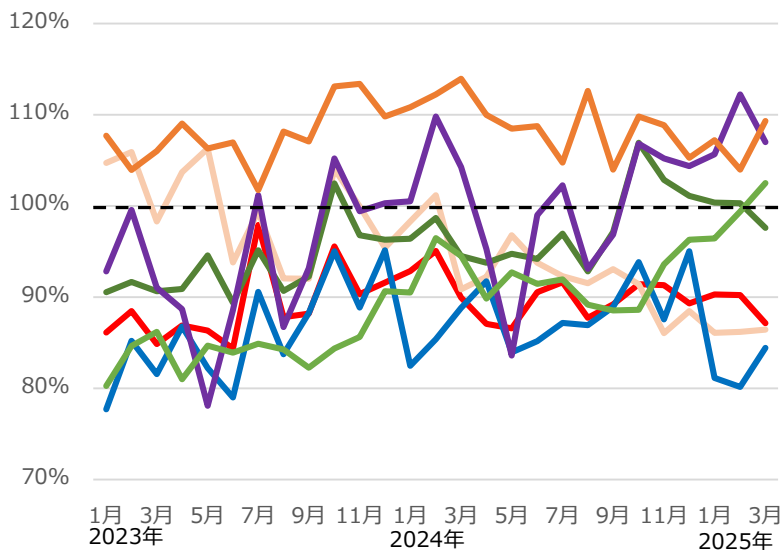
※2019年1月～12月との比較



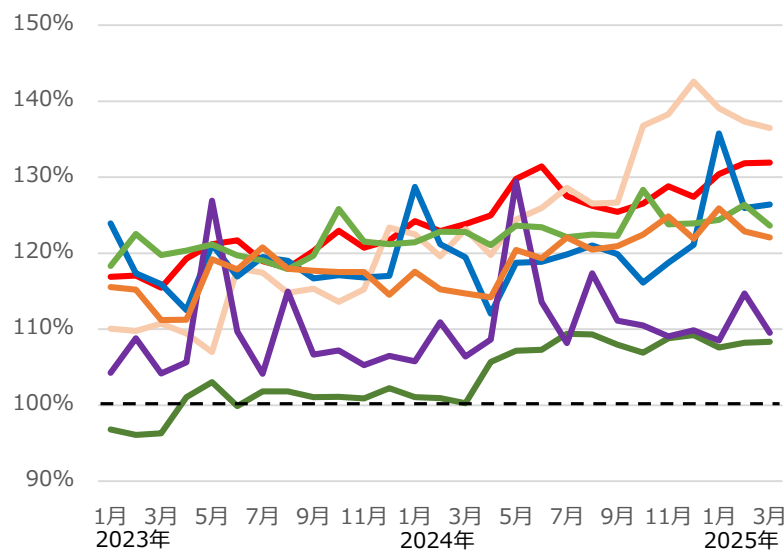
主要業態 直営既存店客数・客単価 コロナ禍前推移

- 低～中価格帯の「家族亭」「得得」「宮本むなし」「かつや」業態は客数・客単価ともに直近では順調に伸長
- 中～高価格帯の「和食さと」「にぎり長次郎」業態は営業時間短縮や価格改定の影響もあり客数はコロナ禍前比9割前後で推移するも、客単価は順調に伸長
- 原材料価格高騰の影響が大きい「天丼・天ぷら本舗 さん天」業態は2024年10月の価格改定により客単価は大幅に伸長するも、客数の減少傾向が継続

<客数推移> ※2019年1月～12月との比較



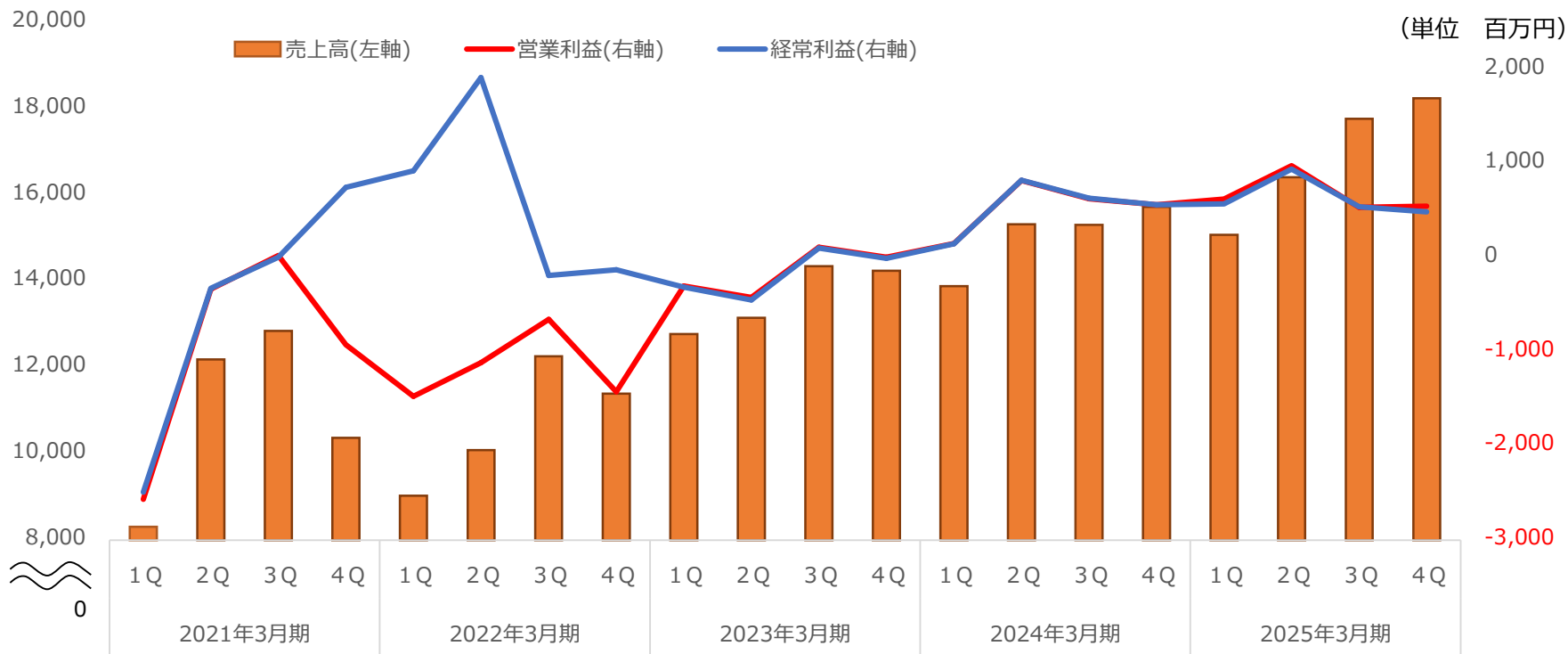
<客単価推移> ※2019年1月～12月との比較



— 和食さと — さん天 — にぎり長次郎 — 家族亭 — 得得 — 宮本むなし — かつや

四半期業績推移

- 2025年3月期の1Q～4Qいずれの売上高も前年実績に対して増収
(1Q+1,186百万円、2Q+1,091百万円、3Q+2,457百万円、4Q+2,514百万円)
- 営業利益、経常利益は上半期は好調に推移するが、下半期は急激なコスト上昇の影響を受け前年実績に対して減益



業態別店舗数

	2024年3月期末 店舗数		2025年3月期				2025年3月期 出店計画②	出店計画達成率 ①÷②
			M&Aでの増減	出店①	閉店	店舗数		
和食さと	197	(-)	-	2	1	198 (-)	5	40.0%
にぎり長次郎・CHOJIRO	68	(-)	-	4	-	72 (-)	4	100.0%
家族亭※	59	(7)	-	-	-	59 (7)	-	-
得得・とくとく	58	(47)	-	1	2	57 (45)	2	50.0%
かつや	48	(15)	-	3	-	51 (17)	6	50.0%
天井・天ぶら本舗 さん天	34	(1)	-	-	-	34 (1)	-	-
アミノ寿司業態※	-	(-)	31	1	-	32 (-)	-	-
定食屋 宮本むなし	24	(1)	-	1※	1※	24 (-)	-	-
宅配寿司業態	13	(3)	-	-	2	11 (3)	-	-
からやま	11	(-)	-	-	-	11 (-)	1	0%
ひまわり	8	(-)	-	-	-	8 (-)	-	-
ピフテキ 牛ノ福	-	(-)	6	-	-	6 (-)	-	-
M&S FC事業※	28	(1※)	-	4	-	32 (1)	6	66.7%
その他	14	(-)	3	2	6	13 (-)	3	66.7%
鶏笑	180	(180)	-	18	50	148 (148)	31	58.1%
海外店舗	24	(20)	2	3	5	24 (23)	7	42.9%
グループ計	766	(275)	42	39	67	780 (245)	65	60.0%
グループ計 (M&A業態・鶏笑・海外除く)	562	(75)	-	17	11	568 (74)	27	63.0%

※「家族亭」業態は「花句庵」「三宝庵」「蕎麦」「蕎麦」業態を含む

※「アミノ寿司業態」には、「うまい鮎助」「うまい鮎助ゆとりぎ」「うまい鮎助別館 鮎正」「銀座鮎正」「回転すし まるくに」「北海三陸炭火焼 まるかん」業態を含む

※「M&S FC事業」は、M&Sフードサービス株式会社が運営する「ポポラマーマ」「ミスタードーナツ」「ドトールコーヒー」「大釜屋」「炭火焼干物定食 しんばち食堂」業態の合計店舗数

※「定食屋 宮本むなし」業態の出店実績、閉店実績には、FC店舗1店舗の直営店転換を含む

※当社がサブフランチャイザーとして運営する「ポポラマーマ」のFC店舗を前連結会計年度末の店舗数に追加

() 内はFC・のれん分け及び合併事業店舗数

01

2025年3月期 決算概要

3

02

2026年3月期 事業計画

13

03

Appendix

16

2026年3月期 事業計画

- 新中期経営計画1年目にあたる、26/3期の業績予想は、前年度の客数トレンドの継続と、価格改定による客単価の一定の上昇をベースとし、コスト面では米を始めとした原材料価格の高騰と人件費の上昇などを見込んで策定
- 1株あたりの配当金は前期を超える水準の通期10.0円を予定

(単位 百万円)

	25/3期実績	26/3期計画	前期差
売上高	67,478	76,000	+8,522
営業利益	2,678	3,000	+322
経常利益	2,539	2,800	+261
親会社株主に帰属する 当期純利益	925	1,600	+675

	25/3期 (通期)	26/3期予想 (通期)
1株当たり配当金	7.5円	10.0円

2026年3月期 業態別出店計画

	2025年3月期		2026年3月期		
	期末店舗数		出店計画	閉店予定	期末店舗数見込み
和食さと	198	(-)	5	1	202 (-)
にぎり長次郎・CHOJIRO	72	(-)	4	-	76 (-)
家族亭※	59	(7)	1	2	58 (7)
得得・とくとく	57	(45)	4	-	61 (45)
かつや	51	(17)	5	-	56 (19)
天井・天ぶら本舗 さん天	34	(1)	1	1	34 (1)
アミノ寿司業態※	32	(-)	2	1	33 (-)
定食屋 宮本むなし	24	(-)	-	-	24 (-)
宅配寿司業態	11	(3)	-	-	11 (3)
からやま	11	(-)	2	-	13 (-)
ひまわり	8	(-)	2	1	9 (-)
ピフテキ 牛ノ福・勝福窓店	7	(-)	3	-	10 (-)
M&S FC事業※	32	(1)	6	1	37 (1)
その他	12	(-)	1	-	13 (-)
鶏笑	148	(148)	31	29	150 (150)
海外店舗	24	(23)	8	-	32 (31)
グループ計	780	(245)	75	36	819 (255)
グループ計 (鶏笑・海外除く)	608	(74)	36	7	637 (74)

※「家族亭」業態は「花句庵」「三宝庵」「家族庵」「蕎句」「蕎菜」業態を含む

() 内はFC・のれん分け及び合併事業店舗数

※「アミノ寿司業態」には、「うまい鰯勘」「うまい鰯勘ゆとろぎ」「うまい鰯勘別館 鰯正」「銀座鰯正」「回転すし まるくに」「北海三陸炭火焼 まるかん」業態を含む

※「M&S FC事業」は、M&Sフードサービス株式会社が運営する「ポポラマーマ」「ミスタードーナツ」「ドトールコーヒー」「大釜屋」「しんぱち食堂」業態の合計店舗数

01

2025年3月期 決算概要

3

02

2026年3月期 事業計画

13

03

Appendix

16

企業哲学

私たちは、**食**を通じて社会に貢献します。

経営理念



夢みる

パートナーと共に、
夢の実現をめざします。



楽しむ

カスタマーと共に**楽**しさ
を分かち合います。



愛する

コミュニティーを**愛**し、
人びとと共に生きます。

SRSホールディングスについて

国内店舗数（756店舗）

〔2025年3月31日時点〕

 和食 さと	198店舗	 中津市 加らあげ専門店 鶏笑	148店舗	 活魚廻り 長次郎	72店舗	 そば 和食 家族亭	63店舗	 とびと	57店舗
 かつ	51店舗	 天丼・天ぷら本舗 さん天	34店舗	 Munashi 定食屋 宮本むなし	24店舗	 本を醸える期間 うまい鰯勘	17店舗	宅配寿司 業態	11店舗
 からすま	11店舗	 五子焼・お出汁 ひまわり HIMAWARI	8店舗	 ゆるぎ うまい鰯	8店舗	 福	6店舗	高速道路 事業	5店舗
回転すし まるくに	4店舗	夫婦善哉	1店舗	 うまい鰯勘別館 鰯正	1店舗	銀座 鰯正	1店舗	 本を醸える期間 うまい鰯勘	1店舗
 カンサント・ピンタキ屋 勝福鱈店 KATSUFUKUROKUTEN	1店舗	さらり CUCINA 展望レストラン	1店舗	M&S FC事業	32店舗	その他 ブランド	1店舗		

海外店舗数（24店舗）

 **タイ**（12店舗）



 **インドネシア**（6店舗）



「冷凍弁当」などをインドネシア
約5,900店舗で販売

 **マレーシア**（1店舗）

GINZA SUSHIMASA 銀座 鰯正

 **中国**（1店舗）

本を醸える期間 **うまい鰯勘**

 **その他**（4店舗）

 **アメリカ**（1店舗）
 **カナダ**（1店舗）
 **フィリピン**（2店舗）

SRSグループ
総店舗数

計 780店舗

ブランド

施策内容／実施状況



- ◆新規顧客獲得、来店頻度向上に向けた取り組み
→「牡蠣食べ放題特別コース」などの高付加価値商品の販売と、タレントの渋谷凪咲さんを起用したTVCMや様々な媒体を組み合わせた効果的なマーケティング施策を推進
- ◆お客様満足度の向上と収益力の強化に向けた取り組み
→お客様アンケートをベースにしたNPS(※)測定ツールを全店導入
→10店舗で大型リニューアルを実施
- ◆生産性向上に向けた取り組み
→掃除ロボットの導入実験を全店に拡大
- ◆新規出店の継続
→2店舗出店済【7月17日】浜松上新屋店(静岡県), 【3月27日】西舞鶴モール店(京都府)



期間限定コース「牡蠣食べ放題特別コース」

※Net Promoter Score：顧客ロイヤルティを測る指標



- ◆生産性向上に向けた取り組み
→前年度より実施しているセルフ型新モデル店舗の開発を継続実施
- ◆お客様の利便性向上に向けた取り組み
→新モデル店舗の長吉長原店にて、お客様のご注文方法を既存の券売機からTOS（テーブルオーダーシステム）に変更する実験を開始
- ◆新規顧客獲得、来店頻度向上に向けた取り組み
→バリューアップを目的とした商品開発を実施したほか、Youtube及びX等のSNSによるプロモーションの実施や、アプリ会員限定クーポンやお得なキャンペーン情報を配信



期間限定「国産天然真ふぐとワカサギフェア」

事業別施策 実施状況

ブランド

施策内容／実施状況



- ◆お客様満足度の向上と収益力の強化に向けた取り組み
→お客様アンケートをベースにしたNPS測定ツールを全店導入
→アプリから来店予約ができるチェックイン機の導入実験を3店舗で開始
→回転ベルトがない新モデル店舗の開発を実施
- ◆客数獲得に向けた取り組み
→にぎり長次郎アプリを活用し、積極的な季節メニューの情報発信やお得なクーポンの配信を実施
- ◆新規出店の継続
→4店舗出店済【6月21日】吹田原町店(大阪府)、【7月24日】北名古屋店(愛知県)、
【11月8日】京都太秦店(京都府)、【2月28日】加古川店(兵庫県)



2025年2月28日開店
「にぎり長次郎 加古川店」



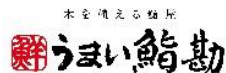
- ◆新規顧客の獲得、来店頻度の向上に向けた取組み
→InstagramやXなどのSNSやTikTokによるプロモーションに加え、
アプリによる情報発信やお得なクーポンを配信
- ◆生産性向上に向けた取り組み
→得得のリブランディングと生産性向上を目指した新型店舗を新規出店
【7月19日】得得 大正千島店(大阪府)
- ◆お客様満足度の向上と収益力の強化に向けた取り組み
→3店舗で大型リニューアルを実施
- ◆収益性改善に向けた取組み
→「家族亭」では、5月にボトム価格の改定を含めたグランドメニューの刷新を実施



産地応援フェア「九州うまかもん 恵み旅」

ブランド

施策内容／実施状況



- ◆グループシナジー創出に向けた取り組み
 - SRSグループメリットを活用したプレスリリース配信の開始
 - グループのノウハウを活用した人件費コントロールの仕組み構築
 - グループ連携による本社業務の効率化
- ◆生産性向上に向けた取り組み
 - セントラルキッチン活用による仕込み作業の削減
 - 決済端末変更によるホールオペレーションの簡略化
- ◆新規顧客の獲得、来店頻度の向上に向けた取組み
 - 期間限定フェア「仲春の候」を開催し、春の訪れを愉しむ旬のネタを販売
- ◆新規出店の継続
 - 1店舗出店済【7月7日】青森&ラビナ店(青森県)



期間限定フェア「仲春の候」



- ◆新規顧客の獲得、来店頻度の向上に向けた取組み
 - 期間限定フェアの開催や「Xフォロー＆リポスト」によるプレゼント企画を実施
 - 宮本むなしアプリを活用し、期間限定メニューの情報発信や、お得なクーポンを配信
- ◆生産性向上に向けた取り組み
 - 注文から会計までロボットなどを活用し、生産性向上を目指した店舗ヘリニューアルオープン【3月18日】新今宮店(大阪府)
- ◆テイクアウト、デリバリーの需要拡大に合わせた取組み
 - 宮本むなしアプリによるモバイルオーダーの促進キャンペーンを実施



2025年3月18日開店
「定食屋宮本むなし 新今宮店」

ブランド

施策内容／実施状況



- ◆新規顧客の獲得、来店頻度の向上に向けた取り組み
 - かつやでは、2025年1月には期間限定でボリューム満点で満足感がある「海老タレカツと親子丼の合い盛り丼」を販売
 - からやまでは、皆さまへ日頃の感謝の気持ちを込めて、「からやま感謝祭」を開催し、人気の4商品を特別価格で販売
- ◆新規出店の継続
 - 3店舗出店済
 - 【4月26日】かつや 神戸摩耶店(兵庫県)
 - 【11月1日】かつや 博労町店(大阪府)
 - 【12月13日】かつや 京都上桂店(京都府)



期間限定「からやま感謝祭」

貸借対照表（B S）

単位：百万円

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	2025年3月期末 (2025年3月31日)	増減
流動資産	17,028	18,090	+1,062
固定資産	18,595	27,743	+9,147
流動負債	9,919	11,184	+1,264
固定負債	9,654	17,737	+8,083
純資産	16,159	17,021	+862
総資産	35,733	45,944	+10,210

- ・ 固定資産の増加は、主に株式会社アミノのグループ連結に伴うのれんの増加と建物（純額）の増加によるもの
- ・ 固定負債の増加は、主に社債の増加によるもの

キャッシュフロー計算書（C F）

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	増 減
営業活動 C F	3,727	3,677	△49
投資活動 C F	△2,292	△10,460	△8,167
財務活動 C F	△1,216	6,978	+8,194
現金及び現金同等物 の期末残高	12,371	12,567	+196

- ・ 投資活動CFの減少は、主に株式会社アミノの株式取得によるもの
- ・ 財務活動CFの増加は、主に社債の発行によるもの

2025年度 SRSグループ合同入社式を開催

- 2025年4月1日（火）にSRSグループ合同入社式を開催
- 今回より、仙台で入社式を行うアミノ社もオンラインで参加
- SRSグループに総勢46名の新たな仲間が入社



2025年大阪・関西万博への出展について

2025年4月～10月にかけて開催される2025年日本国際博覧会のORA（＝大阪外食産業協会）
外食パビリオン「宴～UTAGE～」内からあげ専門店「鶏笑」を期間限定で出展！

<当社の出展情報>



- | | |
|--------|------------------------|
| 【出展期間】 | 2025年9月8日～10月13日（予定） |
| 【出展場所】 | ORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」1F |
| 【販売商品】 | 鶏笑 むねからあげ（予定） |



日本のみならず、世界中から注目を集める大阪・関西万博への出展を通して、
世界中の方に「鶏笑」のからあげの魅力を発信していきます。



ぜんぶのいのちと、
ワクワクする未来へ。

・サステナビリティ基本方針

SRSグループは、「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」をフィロソフィーとした事業活動を通じて、お客様、従業員、取引先、株主・投資家、地域社会などすべてのステークホルダーと共に成長し、持続可能な社会の実現に向けて、社会課題の解決と価値の創造に取り組んでまいります。

・経営理念とSDGs取り組み重点テーマ



DREAM パートナーと共に、夢の実現をめざします。



多様な人々が多様な才能を発揮し活躍できる環境を提供し、生産性の向上と持続可能な社会を実現するための社会基盤の構築を目指します。

ENJOY

カスタマーと共に楽しさを分かち合います。



社会的インフラとして、心のこもったサービスと「安全・安心」な食事を提供し、あらゆる年齢のすべてのお客様に、「安くて」「美味しくて」「楽しく満足できる」食事と空間の提供を目指します。

LOVE☆ コミュニティーを愛し、人びとと共に生きます。



環境保全への取り組みや地域の方々との共生を通じて、コミュニティと共に発展し、愛し、愛され、親しまれる存在になります。

サステナビリティへの取り組み

	重点テーマ	取組み内容	対応するSDGs
D R E A M	パートナーと共に、夢の実現を目指します。		
	働きやすい 職場環境づくり	年次有給休暇および7日間連続休暇の取得推進	  
		「和食さと」全店で、育児支援として「親子割」制度を継続	
		社会保険適用パート従業員の加入拡大	
		育児短時間勤務制度の拡充	
		ハラスメントの防止に関するルールの整備・研修会の実施継続	
		カスタマーハラスメント対応指針を策定	
	多様な人材登用・育成	定年年齢を65歳に延長、再雇用上限年齢を75歳に延長	  
		短時間正社員制度の拡充と店長への新規登用の継続とサポート	
		グローバル人材の積極的な採用と勤務をサポート	
E N J O Y	カスタマーと共に楽しさを分かち合います。		
	安全・安心へのこだわり	当社基準に基づいた原材料の品質管理徹底	 
		従業員衛生教育の継続とHACCPに沿った店舗衛生管理の徹底による安全・安心の確保	
	安全・安心へのアプローチ	店頭での原産地表示やWEBサイトでのカロリー・塩分・アレルギー情報等の表示	

サステナビリティへの取り組み

	重点テーマ	取組み内容	対応するSDGs
L O V E ★	コミュニティを愛し、人びとと共に生きます。		
	廃棄物削減の取組み	mottECO（モッテコ）普及活動の推進	 
		各自治体が実施する「食べきりキャンペーン」への参加	
		フードバンクへの寄付	
	環境保全への取組み	（目標）CO2排出量スコープ1、2における「エネルギー消費原単位」の前年度比1%削減	  
		廃食用油のバイオ燃料化	
		世界規模の環境啓発プロジェクト「Earth Hour」への参加	
	飲酒運転撲滅への取組み	SDD（飲酒運転撲滅運動）活動の継続	
		ハンドルキーパー運動の推進	
	帰宅困難者への支援	災害時帰宅支援ステーションへの協力を継続	 
	社会貢献活動への参加、協力	キッザニア甲子園にて「すし屋」パビリオンを出展中	
		セーブ・ザ・チルドレン活動、ジェフ愛の募金活動への協力を継続	
	ステークホルダーとのコミュニケーションの充実	IR（機関投資家、アナリスト向け）決算説明会の開催	
		CSRレポートの発行および当社WEBサイトのサステナビリティページ更新	
	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス体制の強化、コンプライアンスの徹底	

サステナビリティへの取り組み

食品ロス削減の取り組み

○mottECO（モッテコ）とは

- ・2020年10月に環境省により開催されたNewドギーバッグアイデアコンテストで、利用者とお店の相互理解のもとで行われる飲食店での食べ残しの持ち帰り行為の、新たな名称として選定
- ・名称には「もっとエコ」「持って帰ろう」というメッセージが込められている



mottECO容器

○mottECO（モッテコ）の推進活動

- ・2024年度は「食品ロス・食品廃棄物削減」という社会課題解決を目指して、産官学の21団体で「mottECO普及コンソーシアム2024」を結成し、環境省のモデル事業に採択
- ・7月には、企業・自治体・消費者それぞれが食品ロス削減について考える機会の創出やmottECOの普及を目指して、2年連続で産官学連携のイベント「mottECO FESTA」を開催
- ・食品ロス削減につながる優良な取り組みとして評価され、消費者庁と環境省が主催する「食品ロス削減推進表彰」において2年連続で受賞
 - ①令和4年度「食品ロス削減推進表彰」は「**審査委員会委員長賞**」を受賞
 - ②令和5年度「食品ロス削減推進表彰」は「**環境大臣賞**」を受賞



「環境大臣賞」表彰状

廃棄物削減の取り組み

○SRSグループ店舗で発生する廃食用油をバイオ燃料へリサイクル

廃食用油の再資源化による循環型社会の実現に向け、SRS グループが運営する365 店舗で排出される廃食用油のバイオ燃料（バイオディーゼル、SAF）化を新たに開始

- ・ SAF（Sustainable Aviation Fuel）は廃食用油などを原料とする持続可能な航空燃料であり、従来の化石燃料を原料とする航空燃料と比較し、CO₂ 排出量を大幅に削減することが可能な為、SAFの普及は航空業界の大きな課題である環境への影響を軽減可能

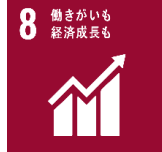


環境保全の取り組み

○Earth Hour2025への参加

- ・ Earth Hourは、世界中の人々が同じ日・同じ時刻に消灯することで地球温暖化防止と環境保全の意志を示す世界最大級のグラスルーツイベント
- ・ 環境啓発に取り組むアライアンス「Food with Sustainability」の外食チェーンやホテルの17社と合同で2025年3月22日に「Earth Hour2025」に参加

安心して働ける職場環境を守る為の取り組み



○カスタマーハラスメント対応指針の策定

- ・ SRSグループは従業員が安心して働ける職場環境を守ることを目的として、2024年9月2日に「カスタマーハラスメント対応指針」を策定しHPに掲載
- ・ 東京都で全国で初のカスタマーハラスメント防止条例が成立するなど、社会課題として認識されつつある当課題について、SRSグループは外食産業の中では先駆けて、カスタマーハラスメント対応指針を策定
- ・ 今後も従業員が安心して働ける職場環境を確保しつつ、引き続きお客様に誠意を持って対応し、健全な関係を維持を目指す



HPに対応指針を掲載

2025年3月期 出店店舗



2024年4月15日開店（埼玉県）
鶏笑 妻沼店



2024年4月26日開店（兵庫県）
かつや 神戸摩耶店



2024年5月18日開店（フィリピン）
鶏笑 SMノースエドサ店



2024年5月22日開店（長野県）
鶏笑 グルメ横丁みやび店



2024年5月30日開店（兵庫県）
一福 JR塚口店



2024年6月1日開店（兵庫県）
鶏笑 甲子園店

2025年3月期 出店店舗



2024年6月21日開店（大阪府）
にぎり長次郎 吹田原町店



2024年7月7日開店（青森県）
うまい鯨勘ゆとろぎ 青森&ラビナ店



2024年7月8日開店（大阪府）
鶏笑 箕面小野原店



2024年7月17日開店（静岡県）
和食さと 浜松上新屋店



2024年7月19日開店（大阪府）
得得 大正千島店



2024年7月24日開店（愛知県）
にぎり長次郎 北名古屋店

2025年3月期 出店店舗



2024年8月16日開店（滋賀県）
鶏笑 西ノ庄店



2024年8月20日開店（大阪府）
鶏笑 豊中春日町店



2024年8月23日開店（大阪府）
鶏笑 河内長野市役所前店



2024年9月19日開店（タイ）
さと丼 コスモバザール店



2024年10月25日開店（タイ）
さと丼 N-Markプラザ店



2024年11月1日開店（大阪府）
かつや 八王子店

2025年3月期 出店店舗



2024年11月8日開店（京都府）
にぎり長次郎 京都太秦店



2024年11月14日開店（茨城県）
鶏笑 古河店



2024年11月20日開店（兵庫県）
しんぱち食堂 西神中央店



2024年12月1日開店（大阪府）
鶏笑 鳳北町店



2024年12月13日開店（京都府）
かつや 京都上桂店



2024年12月14日開店（大阪府）
鶏笑 交野倉治店

2025年3月期 出店店舗



2025年2月8日開店（兵庫県）
鶏笑 丹波氷上店



2025年2月20日開店（大阪府）
しんぱち食堂 天神橋筋3丁目店



2025年2月20日開店（福岡県）
鶏笑 長者原店



2025年2月28日開店（兵庫県）
にぎり長次郎 加古川店



2025年3月27日開店（京都府）
和食さと 西舞鶴モール店



お問い合わせ先

SRSホールディングス株式会社
経営企画部（児玉、岩井）

TEL: 06-7709-9977
メール：873@sato-rs.jp

本資料に掲載されている業績予想は、本プレゼンテーション時において入手可能な情報に基づき判断した見通しです。
この中には、多分に不確定要素が含まれており、様々な要因によりこれら業績等に関する見通しとは大きく異なることがあります。
以上の前提をご理解いただき、投資に関する決定をされる場合にはご自身の判断で行われるようお願いいたします。